

# オセロの論理的な勝ち方

石原悠泰 松木清羽 仲村康生 山内新太  
指導者 長瀧 剛

## 研究をしようと思った動機

・南海トラフが起こり、スマホやタブレット等による娯楽が失われたときストレスや不安が溜まっていく可能性がある。そこで私たちは身近なもので代用することができるオセロに注目し、その攻略法について研究することにした。

## 仮説

・先輩方の先行研究やオセロでの調査等から、オセロの盤面において空いているマスが偶数の時は相手に置かせて、空いているマスが奇数の時は自分が石を置くようにする「偶数理論」は、逆の行動をとる「奇数理論」に比べて勝利につながりやすいという考え方は正しいという仮説を立てた。

## 実験方法

- ① 8×8のオセロを使う。
- ② 図のような偶数理論と逆偶数理論のどちらも利用が可能な場面を設定する。
- ③ 黒のオセロが偶数理論を使うものとし、偶数理論を利用した回数を記録しながらオセロを進めていく。そして、勝敗が決まった時の黒と白のオセロの個数を記録し、勝敗を記録する。
- ④ ③から記録した勝敗をグラフ化し、具体的に偶数理論が勝率につながっているのかを調べる。

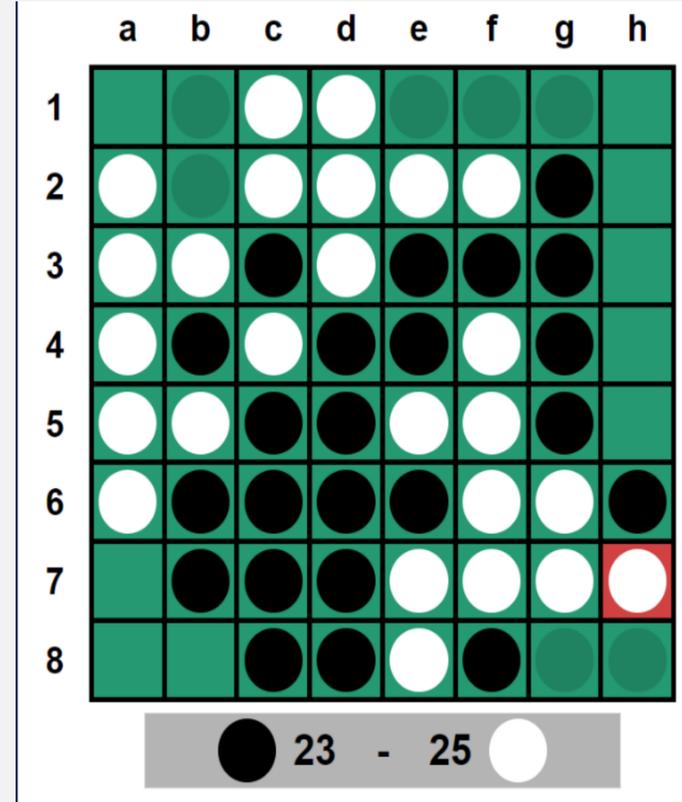


図1：場面設定

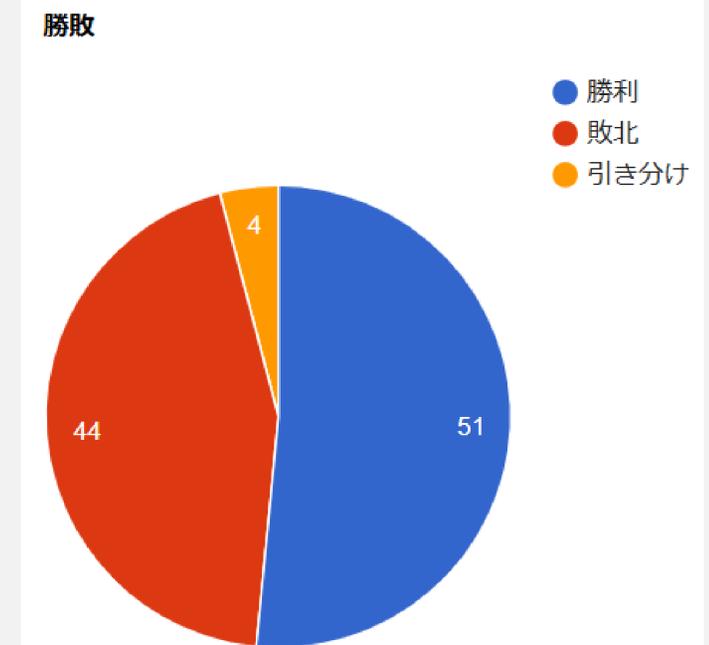


図2：対戦結果

## 結果

・現時点 黒 勝利 36 敗北 31 引き分け 3

## 考察

・数をこなさないことには正しい答えを導き出すことは難しいが、現時点では偶数理論を使うコマ（黒）が勝ちやすいとはいえない。

## これからの展望

・十分にデータが取れていないので、さらに研究を進めてより正確な確率を導き出していきたい。

## 参考文献

・円環型オセロの戦略について